

# 令和3年度 指定管理業務 実績評価シート

作成年月日 2022年6月28日

部課名 商工部産業育成課

施設名	弘前市伝統産業会館
施設の設置目的	津軽塗等、市の伝統産業の振興を図るとともに、市民の交流活動の場を提供するための施設
所在地	弘前市大字神田二丁目4-9
指定管理者名	弘前市伝統産業会館管理運営委員会
指定期間	平成31年4月1日から令和6年3月31日まで
1 事業計画の実施状況	計画どおり実施している。
2 自主事業の実施状況	自主事業の実績なし。
3 市民サービス向上のための取組状況	会館内の小破損・修繕は速やかに実施するなど、良好な施設環境の維持に努めている。
4 市民ニーズの把握の実施状況	利用者アンケートを行い、運営に反映させるように努めている。
5 施設の利用状況（利用者数、稼働率など）	令和3年度の年間利用人数は1,096人となり、目標値である1,235人を下回った。
6 指定管理業務の収支状況	令和3年度では、新型コロナウイルス感染症の影響により、利用料金収入の減少が見込まれたことから、施設の利用促進や光熱水費等経費の削減に努めた。しかしながら、感染拡大防止に伴う施設の休止等により、成果指標の達成が困難となったほか、施設管理に要する経費に対し利用料金収入が少ないことから、さらなる利用率向上の取り組みが必要である。

## 7 実地調査の結果

施設の管理・運営は適正に実施されている。また、施設利用案内等の周知も行っており、おおむね適正である。

## 8 成果指標の達成度

- ・目標値 年間利用人数:1,235人
- ・令和3年度利用人数1,096人
- ・達成度88.74%(実績1,096人/目標値1,235人)

## 9 評価

### (1) 指定管理者の自己評価

評価区分	評価	評価の説明	今後の課題と対応
施設の運営	B	法令等の遵守に努めている	
施設の管理	B	施設の維持管理に注意を払っている	
経理の状況	C	経費の削減に努めているが、利用料金収入のみでの運営が困難となっている。	さらなる利用率の向上が課題
団体の財務状況	B	利用料金収入の他に津軽塗団体からの出資金があるため、現在は安定した経済的基盤を有している。	

### (2) 市の指定管理者に対する評価

評価区分	評価	評価の説明	今後の課題と対応
施設の運営	B	法令等の遵守に努めている	引き続き、円滑な施設の運営に努めていただく。
施設の管理	B	施設の維持管理に注意を払っている	今後も施設の適正な管理に努めていただく。

経理の状況	C	新型コロナウイルス感染症の影響による減収への対応として、損失補償金を令和4年度に支給することとしている。また、経費の削減に努めているが、利用料金収入のみでの運営が困難となっている。	新型コロナウイルス感染症の影響に対して対策を講じながら、適正な経理状況となるよう努めていただくとともに、さらなる利用率の向上が課題。
団体の財務状況	B	利用料金収入の他に津軽塗団体からの出資金があるため、現在は安定した経済的基盤を有している。	引き続き適切な運営に努めていただく。

### 【評価の視点】

評価区分	評価の視点
施設の運営	法令等の遵守、使用許可、市の指定事業、付随業務、自主事業、公平性、職員配置・研修、開館時間・休館日、職員の接遇、利用者ニーズの把握・反映、事業計画の実施状況、業務報告など
施設の管理	利用者の安全対策、施設・設備の維持管理、個人情報管理、文書等の管理、備品等の管理、緊急時対策、災害対策など
経理の状況	帳票等の整備、経理の区分、収支状況、経費の削減、帳簿等の保管状況など
団体の財務状況	安定的な施設の管理が可能な経理的基盤を有しているか

### 【評価の基準】

A	協定書・基準書等の内容を超える管理運営が行われたと判断できるもの (適正な管理運営に加えて、更なる取組みや成果があると評価できるもの)
B	協定書・基準書等の内容を概ね適正に実施していると判断できるもの (軽微な改善点はあったが、速やかに改善されているもの)
C	協定書等の内容に対して改善点はあったが、適切な改善策が講じられているもの
D	協定書等の内容に対して不履行があるものや、改善がなされていないものがあるもの

### ※「団体の財務状況」の評価基準

B	問題がない
C	今後注意を要する
D	早急な改善を要する